

◆ 平成 19 年度（後期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日・時	実施場所	実施目的・実施内容
保健福祉学部 看護学科	看護学科 FD 委員	未定	三原キャンパス	本学からの FD 助成金を受けて研究を行った教員による研究成果の発表および看護教育ワークショップに参加した教員による概要報告。 その他：学生委員（山口三重子）による「チューターマニュアル（仮称）」の紹介
保健福祉学部 理学療法学科	清水 ミシェル・ アイズマン	平成 20 年 1 月予定（平成 19 年度臨床実習指導者会議の前に開催する）	2416 会議室を予定	臨床実習中に実習遂行が困難な学生が時に見受けられる。従来からそのような問題は散見されたが、その原因は変化してきているようにもみえる。そこで今回は、今年度の臨床実習をふり返り、実習指導者、学生、大学教員の各側面から問題点を検討し、学内教育、臨床実習指導に役立てることを目的とする。 その他：11 月より月 1 回教員の持ち回りで勉強会を開催し FD 活動の一環としている。（学部内にメールで案内し他学科の教員も出席可能とする）
保健福祉学部 作業療法学科	近藤 敏 田端 幸枝	月 2 回の学科会議および抄読会の時間にあわせて開催、原則年 2 回（前後期各 1 回以上）。 本年度の第 2 回開催は 11 月 28 日（水）12:30~13:30 予定	2416 会議室	作業療法学科教員の FD 活動に対する理解を増し、重要性の認識をより深める。そして、本活動により教員間の教育に関する情報の共有化を推進し、教育の質の組織的向上を図る。 1)情報の共有（学生に関する情報、作業療法教育に関する情報、等） 2)初年次教育（学生の生徒化への対策、等） 3)教育の質の組織的向上（学科としての FD 活動、等）
保健福祉学部 コミュニケーション障害学科	吉畑 博代	10 月 17 日（水） 11 月 21 日（水） 他予定 2 件	4511 会議室	コミュニケーション障害学科学生のコミュニケーション能力を育成するとともに、教員の健康を維持するために、ストレスマネジメントの方法について理解を深める。 (1)10 月 17 日（水）に学生のコミュニケーション力を育成するための取り組みについて担当者が報告し、学科内での情報の共有化をはかる。また、学科外の教員にも参加を呼びかける。 (2)11 月 21 日（水）に、学科 FD の会として、“日本語聴覚士養成校教員連絡協議会「学生の心の問題とその対応について」に参加して”と題した報告会を実施する予定。 (3)外部講師を招き、教員のストレスマネジメントについての研修会を実施する予定。 (4)来年 3 月に行われる日本語聴覚士養成校教員連絡協議会研修会（「臨床実習能力の評価について」）に参加し、その報告・情報の共有化をはかる予定。
保健福祉学部 人間福祉学科	三原 博光	平成 20 年度 2 月予定	三原キャンパス	将来、社会福祉の専門職として社会福祉関係への就職を目指して、入学した人間福祉学科の 1 年生に対して、大学教育の重要性や意義を伝え、幅広い教養を持った専門家を育てることを目的とする。そして、この目的のため、まず、教員が大学における初年次教育の重要性について学ぶことが必要であると考え。講師として、友定賢治総合教育副センター長を招いて「大学における初年次教育の重要性」についての講義を聞く。
経営情報学部 経営学科	生田 顕	学科会議の終了後等	広島キャンパス 1212 会議室その他	学科等で FD 活動を日常的に推進する。教育効果を考えたカリキュラムを見直すための会合を定期的に開く。
生命環境学部	入船 浩平 西村 和之	原則として毎月 1 回、1 時間（質疑込み）	庄原キャンパス内 の空き教室	前期に環境科学科で実施してきた「環境科学セミナー」は、実験・教育手法に対する意見交換、卒論生・院生等の専門分野に対する学習意欲の啓発や学部・大学院の受験生の獲得などに有益であると判断されたことから、生命科学科で実施することとなった。両学科の教育内容は、基礎的な部分で重複する分野が多いことから、共同で開催して両学科の内容を把握できる方がより有益であると判断した。